

寺崎組新聞

第百三号

発行所 寺崎組新聞社

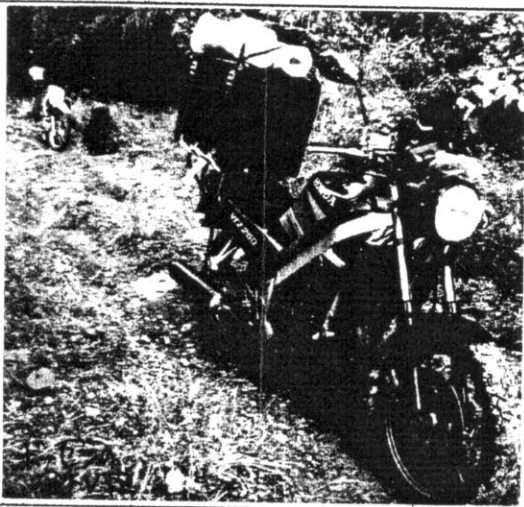
二度あるゲロ道は三度ある。 ぽよよくんVTで塾へ 粘土道は走れねんど!

第135回組会

待ち合わせ場所に到着！組長はVTZを見て、

「うむ、VTは100歩譲ってOKだとしても、後ろの箱が重心が悪すぎる。でもVTで来たんだからその根性は認める」と。印象に残っている言葉は「寺崎組は見捨てませんから」です。

時間になり出発！買い物も済ませさあ、林道です。組長に気を使わせて頂き、比較的走りやすい林道をチョイスしていただいたようですが、ダートになってちよつと走ったところで、リアのシヨックが抜け切っているパネだけの状態が悪さをしたので、ただ単に下手なだけなのか、両方なのかはわかりませんが、すぐコケました。この時VTZに右足が挟まり痛かった。でも骨は折れてなさそう。分岐点でコケたことを組長に報告。



マフラーが抜けかけていた↓組長の蹴り一発で復活

・ブレーキとクラッチレバーを緩めたほうが良いとのアドバイス↓緩めました

分岐点から出発しました。少し走

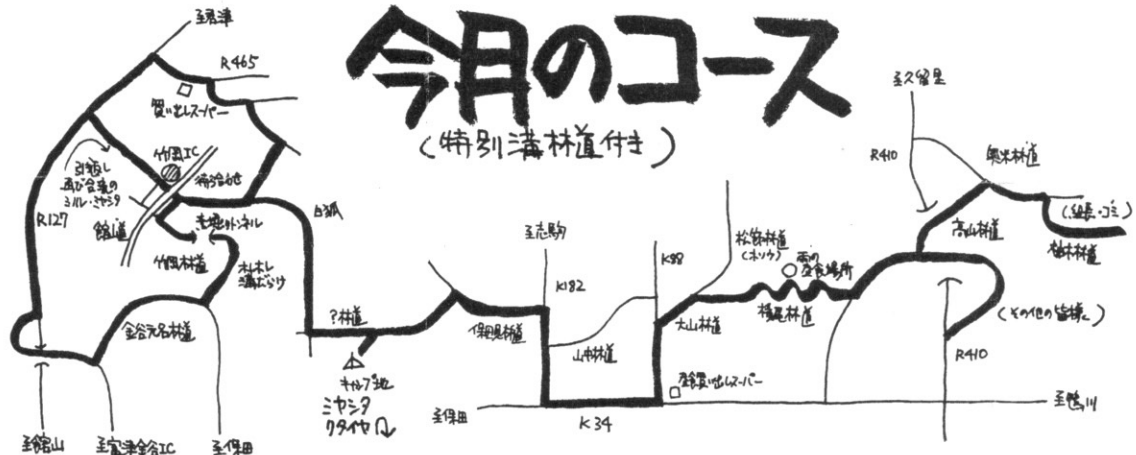


下鉄さんが転倒。やばい、大ベテランが転倒するようなのをVTZで行けるのか？って思いました。粘土質とリアサスのポヨンポヨンのダブルパンチが効いてまたコケました。今回はバイクと共にコケなかったのですが、でもコケた所のすぐ脇が奈落の底でした。怖えええ！アベさんとミノルさんにバイクを引き起こしてもらいましたが、もうこれ以上走ってもさらに迷惑をかけるだけかと思ひ、ここで引き返すことにしたので、アベさんが状況を組長に伝えて来るのと、組員が待たせて。そして何と！組長と組員の方々が徒歩で助けに来ていただきました。写真におさめることが出来なかつたのですが、なんと！組長が私のVTZに乗って誰かが登れないと思つたところを登りました。さすが組長！うまい人は何乗ってもうまいんですね

野宿ポイントへはぐるっとひとま



わりする感じになるのだがVTZでも行けるとの事で、私とミノルさんで最初の待ち合わせ場所に戻りました。そこに組長と組員のバイクが到着し野宿ポイントへGO！夜の宴会は超楽しかったです。皆さん料理がとても上手でビックリ。ご馳走様



寺崎がーじ

あなごのボロバイク、不動バイク直しします。

連絡は組長まで



今日の新人紹介

第三百五十号

宮下 治

無謀は 植とVTZ (箱付)で走る ボロ好きです。

11010年忘年会組会

第136回組会

25日当日、会社に野暮用の為に出社し、午前10時帰宅後にジムに荷物を持ち込み、美容院へ行くかみさんに留守を頼み、11時前に出発。豊科ICから長野道・中央道を走り、諏訪南ICで下道へ降りるいつものルートで一路スキヤンプ場を目指す。途中から前方に雪化粧した富士が見え、気分が高鳴るが、報道で期待していた「クリスマス寒波」は到来せず、少しガツカリである。途中組長から聞いていた富士見の「Jマート」に立ち寄り、猛烈な吹雪に見まわれ、用心のためにアルミスコップを購入したものの、山梨県境を過ぎるとさっきの吹雪は嘘のように穏やかになり、地団駄を踏みながらの道中でした。

白州の道の駅で買出し後、内藤ダンプール構内を通過し小武川林道へ進入すると、目前に小奇麗なステップワゴンが走行している。ナンパは春日部(私は何故か鈴鹿と思ひ込みました。?)なのでこの時期に山に向かうのは組員?と思ひながら途中で追い越して頂き、さらにも途中で前方からキノの散歩中の組員がやってきたので挨拶を交わし、分岐から野宿地へ進入し午後3時に到着しました。

先着組は赤貧さん、カバさん、河合さん、ゴ三浦さんの面々で、時間のわりに少ない面々でありました。早速先ほどのステップワゴンの話をすると「鈴鹿ナンパなら伊勢の電氣屋か?」この推測が飛び交うなか、春日部ナンパの侵入に「どかが鈴鹿やねん」とバツが悪くソクサとテントを張り出しました。(汗)

侵入車は千葉組会にVTZで参戦された宮下さんでした。そのうち組長も帰還され、その後は続々と参加者が到着され、いつもの面々がそろってきました。(地下鉄さん、三浦2号さん、尾形さん、北脇さん、三平さん、村松岡さん)

今回は組長が、オーキヤン取材用に新調したらしい薪ストーブを試運転も兼ねて持ち込み、いつもの「在るものを使い、無いものは創り出す自力更生の精神」(おー！朝鮮の親愛なる指導者同志のお言葉か。笑)を見せ付ける設置基準に驚愕しました。ハイ!

午後4時30分ごろから自然発生的に開始されたいつもの宴会は、つぎつぎと料理が回り始め、カバさん提供のケーキ(!!)も御馳走になりつつ、いやおうも無く盛り上がるクルシミマスの野宿地でした。その後醤油屋上島さんと彼女(?)が到着し、さらに盛り上がる宴会でしたが、ここでスーツ姿のフガ金井さんが到着し、ようやく全員そろいました。その後の模様はここで御報告するまでもなく、各分科会毎に「松本署士アニメ主題歌ショー」・「里山再生とタイガーマスク論」・「サンタクロースが平壤でプレゼントを配った画像を見た自慢話」・「尖閣諸島の早期実効支配と自衛隊展開について」等々の演目が脈絡も無く続きましたとさ。爆)。そのうち、ふと気付くと、なんと赤貧さんが微妙に打ち上げ体制に入っており、すでに周辺のフライパンに被害が出始めていた為、速やかにA1発射台(。ってどこやねん?)へ誘導すると、赤貧さんが管制塔と交信を始めたので、初体験の私は間近での発射を期待していましたが、なんと軌道離脱し三浦2号さんテント前にてジジ(三浦2号さんの愛犬)とたわむれ始めました。しばらくすると何故かのジジ強襲に打ち上げならずの鬱憤やるかたない赤貧さんの猛反撃が始まり、大慌ての三浦2号さんが仲介に入り、等々今夜のメインイベントは終了して行きまして。午後11時ごろには各自が寝床に収まり始め、小武川の夜が更けていきました。

翌朝 6時ごろから組長を筆頭に各人が起き始めましたが、尾形さんが本日8時までに帰宅せねばならない件があり、急遽道をふさぐ車の移動作業となり、7時過ぎに尾形さんが帰還されました。野宿地の周辺には昨夜、地下鉄さんの酷評にさらされた日本酒達が散乱し、毎度おなじみの朝の風景があり、自分ながらホッとするとする瞬間です。(ウソです)。

個々に朝食をとりながら帰宅組は準備に入っており、上島カップルとゴ三浦さんも早々の帰宅となり、残り三浦さんも早々の帰宅となり、残りは屋近辺までマッタリと課題に取り組みました。北脇さんがりようふうさんから委託されて搬入したバハの分解整備と搬入用車両(ハイゼット550)のフリーハブの分解組直が行われました。各自屋敷後、三々五々帰宅の途につき、私も残留組とお別れして午後2時に帰路につきま

